

まちがいさがし クイズ

問題

上下の絵を見くらべて、
まちがいを8カ所見つけてください。

応募方法

ハガキまたはファクスに、①答え
(右の絵に○をつける)・②住所・③
氏名(ふりがな)・④年齢・⑤電話
番号・⑥広報紙の感想、ご意見など
を書いて応募してください。なお、
当選者のお名前を広報がまごおり5
月号に掲載しますので、ご了承ください。

送り先

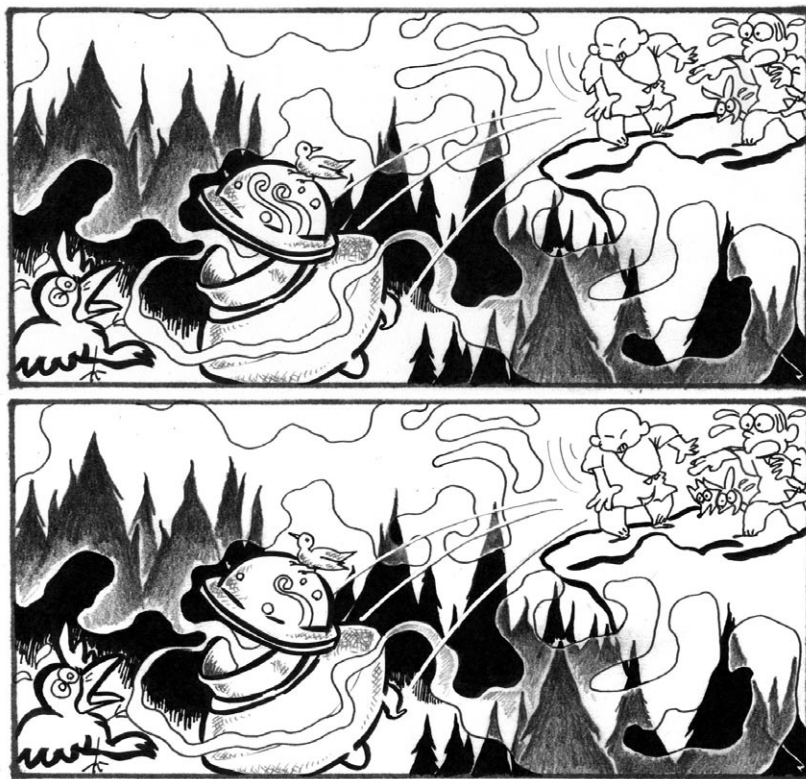
〒443-8601 旭町17番1号
企画広報課「クイズ」係
FAX66♦1190

応募締切

3月16日(水)当日消印有効

プレゼント

全問正解された方のうち、抽選で
10人の方にクオカードもしくは
ユトリーナバーデゾーン無料利用
券をプレゼントします。なお、賞
品は5月初旬に郵送します。



「千鳥の香炉」(相楽町)

むかし、源頼朝が再興したといわれる全福寺に立派な千鳥の彫刻をほどこした不思議な香炉が伝わっていた。

神仏を大切にしない不届き者が来ると、この香炉から煙が立ち上がって谷を埋め尽くし、「あつ」という間に一寸先もわからないようにしてしまつて言われていた。

しばらくして、世の中が乱れてくると全福寺の坊さんも修行を怠るようになり、不思議な香炉の伝説も迷信だと言って谷へ投げ捨ててしまった。するとたちまち谷には霞がかかり、一寸先も見えなくなってしまった。投げ捨てた坊さんは驚いて寺へ逃げてしまい、香炉はそのまま行方知らずになってしまった。

それから間もなく、萩原左衛門尉芳信に寺を占領されてしまい、大切な香炉を投げ捨てた罰が当たったと噂になり、この谷を人々は「霞谷」と呼ぶようになった。今でもその香炉が「霞谷」に埋まっており、時々霧や霞が立ち込め谷を埋めることがあるそう。

1470年、乱によって全福寺は荒廃。現在、「さがるの森」内の平地に、本堂跡とみられる十数個の礎石が存在する。この他にも周辺に礎石と認められる石が散在し、かなり大規模な寺院であったことが推定されている。

◆1月号の答え



1月号クイズまちがいさがし(鼠小僧次郎吉)の当選者

応募総数83通 正解者82人 ~おめでとうございます。賞品は3月初旬に発送します。~

当選者(敬称略・50音順)

市川 松蔵(一色町)	稲葉 勇人(鹿島町)	尾田 耕作(海陽町)	加藤 友紀(竹谷町)
亀谷 綾子(西浦町)	鈴木 満(西浦町)	多田 栄子(柏原町)	田丸 信幸(西浦町)
福倉 信之介(形原町)	吉見 紅葉(港町)		